

「教員個人調書（履歴書及び教育研究業績書）」記入要領

名古屋造形大学

【履歴書】 ※「年月日」は全て和暦で、それぞれ年月順に記入してください。

1. 「氏名」欄

①本名（戸籍名）を記入してください。

②通称、アーティスト名等がある場合は、本名の後に括弧書きで記載してください。

2. 「生年月日」欄

年齢には、採用予定日における満年齢を記入してください。

3. 「国籍」欄

外国籍である場合にのみ国名を記入してください。

4. 「現住所」欄

都道府県から記入してください。

5. 「学歴」欄

①高等学校卒業より記入してください。

②博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。

③学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。

④医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等を併記してください。

また、外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。

⑤学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

⑥外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

6. 「職歴」欄

①すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む。）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。

②各職歴についての在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。

③研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

④過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあつては、判定結果を含む。）を記入してください。

また、過去における高等専門学校教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。

⑤大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。

7. 「学会及び社会における活動等」欄

- ①「現在所属している学会」には、申請時において所属する学会の名称を記入してください。
- ②学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
- ③教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

8. 「賞罰」欄

学会や出版社からの表彰、職務上の表彰や懲戒処分、各種研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

9. 「現在の職務の状況」欄

- ①現在における職務の状況について記入してください。
- ②「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は、「－」を記入してください。
- ③勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目、担当コマ数を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

10. 「署名」欄

- ①「年月日」には、作成日を記入してください。
- ②「氏名」には、本人が本名で自署のうえ、押印してください。

【教育研究業績書】 ※「年月日」は全て和暦で、それぞれ年月順に記入してください。

1. 「署名」欄

- ①「年月日」には、作成日を記入してください。
- ②「氏名」の欄は、本人が本名で自署のうえ、押印してください。

2. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」欄

- ①「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ②「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ③「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
- ④「教育上の能力に関する事項」の例

「1. 教育方法の実践例」

○優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開 等

「2. 作成した教科書、教材」

○作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要（後の「著書・学術論文」との重複も可。その場合、「再掲」と表示）

「3. 教育上の能力に関する大学等の評価」

○各大学における自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実（その理由と評価内容）

- 採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
- 学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの
- 学外の評価機関等が行った評価
- 上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価（客観性をもったもの）等

「4. 実務の経験を有する者についての特記事項」

（※学外の団体、組織、企業等における教育の実績）

- 大学から受け入れた実習生等に対する指導歴（看護・福祉実習・企業実習 等）
- 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要
- その他、所属機関や関係機関等において行った講義、演習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を記載してください。

「5. その他」

- 大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- 教育実績に対する受賞歴 等
- 国家試験問題の作成 等

⑤「職務上の実績に関する事項」の例

「1. 資格、免許」

- 資格や免許について、研究分野や担当する教育内容に関するものを記載してください。

「2. 特許等」

- 担当する教育内容に関連した事項について記載してください。

「3. 実務の経験を有する者についての特記事項」

（※学外の団体、組織、企業等における各自の専門分野に関する実績）

- 大学との共同研究
- 訴訟、審判、監査、与信、企業提携、研究開発等の担当実績
- 各種審議会、行政委員会、各種ADR等の委員
- 行政機関における調査官 等
- 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
- 調査研究、留学、海外事情調査 等
- 上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌 等

「4. その他」

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦 等
- 論文の引用実績 等

3. 「研究業績等に関する事項」欄

①「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

②「著書、学術論文等の名称」の項

- 研究等に関連する主要な業績を、「(個展、作品発表等)」、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- 個展、作品発表等については、展覧会名、作品名等を記入してください。また、作品の場合は、作品名の前に内容を示すサブタイトルを付してください。
- 著書については、書名を記入してください。
- 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。

○その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論会にあつては当該テーマを記入してください。

○査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

③「単著・共著」の項

○個展、作品発表、学会発表、講演会等について、単独である場合は「単独」、共同発表者がある場合は「共同」と記入してください。

○当該著書等に記載された著作者が単独である場合は「単著」、著作者が複数いる場合は、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。

④「発行又は発表の年月」の項

当該個展、作品発表、著書、学術論文等の発行又は発表の年月日を記入してください。

⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項

○個展、作品発表等については開催場所を記入してください。

○著書については、発行所を記入してください。

○学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻、号、掲載ページ等を記入してください。

○報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を記入してください。

⑥「概要」の項

○当該個展、作品発表、著書、学術論文等の概要を 200 字程度で記入してください。

○グループ展等出展者が複数の場合は、本人の氏名（下線を付すこと。）を含め全員の氏名（多数にわたる場合は主要な出展者の氏名）を記入してください。

○作品が雑誌等に掲載された場合や、作品に対する評論や取材記事がある場合は、出版物名、号数、掲載ページ数、出版社名を記入してください。

○当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと。）を含め著作全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。

また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

以上